

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和8年2月27日

事業所名: ひよこ園事業

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	11	0	0	31	1	0	0	・個人が落ちつけるスペースがとてうれしいと思う。 ・今後も専門性の高いアドバイスができるように工夫しました。	・落ち着いて活動に参加できるよう、今後も子どもさんに合わせて安心できる活動場所を用意していきたいと思います。
	2 職員の適切な配置	11	0	0	29	1	0	2	・職員は適切に配置されています。クラス職員が不足する時にはパート職員が入り対応しました。	・今後も専門性の高いアドバイスができるよう努めます。 ・それぞれの活動場所に適切に職員を配置していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	11	0	0	31	0	0	1	・何をすればよいのか分かりやすいよう場所や時間の構造化を行い、状況理解しやすい環境を整えました。またそれにより子どもさんが自分の気持ちを自由に発信できるよう支援しました。	・状況がわかり自分の気持ちを伝えることができる環境を整えていきたいと思っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	11	0	0	31	1	0	0	・日々清掃を行い、清潔な環境を整えています。常時、感染症の対策を行い衛生管理にも努めました。	・朝伺うといつも職員皆さんで掃除をされていてすごいな、ありがたいなと思っています。 ・活動の合わせてパーティーションで仕切られていて、一つひとつわかりやすくしてよい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	11	0	0					・年度初めにクラス運営について計画を立てた事で、円滑にクラス懇談会や施設支援、療育参加を進めることができました。	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	11					・実施していません。	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	11	0	0					・今年度は園内研修や外部研修に積極的に参加しました。また、職員全員が公開療育のある外部研修に参加し、支援の質を高められるよう努めました。	
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	11	0	0	29	2	0	1	・支援プログラムはホームページに適切に公開されています。	・されている。 ・コードモンの資料室にも掲示しました。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	11	0	0	32	0	0	0	・年度初めに保護者の方から支援に関する聞き取りを行い、各クラス職員、児童発達支援管理責任者、保護者の方でミーティングを行いました。その場で共有された内容をもとに支援計画を作成しました。	・本人のことを細かく分析し、課題をあげて計画を立ててもらっている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	11	0	0	32	0	0	0	・支援計画に関しては5領域の視点を踏まえて具体的な支援内容を記載しました。	・されている。 ・一人ひとりをよく見て支援してくださっていて本当にありがたいです。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	11	0	0					・子どもさんの発達の度合いや興味に合わせて、個別やグループ活動を計画しました。	
	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	11	0	0	32	0	0	0	・個別に支援計画に基づいた連絡ノートを作成し、保護者の方にも支援の進捗状況がわかるようにしました。また、日々の支援が適切に行えるようクラス内で個々の支援について情報共有しました。	・計画に沿って支援されており、改善点が出たら報告してもらい、新たな計画を立てていただいているのでよい。 ・今後も連絡ノートや個別懇談を通し、支援の進捗状況等、情報共有を行っていきます。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	11	0	0					・生活日課や活動プログラムについてはクラス内で話し合いを行い、実施しています。園全体で行う活動については、各クラスの担当者が内容を相談し立案しました。またグループ指導については、毎回振り返りを行い、次の計画に活かしました。	
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	11	0	0	31	0	0	0	・なるべくプログラムが固定しないように工夫をしました。季節を感じる療育内容もさらに増やしていきたいと思っています。	・園全体で相談しながら子どもさんが楽しめる内容を増やしていきます。また季節感が感じられる内容を通して子どもさんの感性を育てていきます。

無記入1名

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
適切な支援の提供（続き）	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援				非該当					
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	11	0	0	・療育開始前にクラス間でその日の活動や支援の留意点などを確認しました。支援の変更があった際にはその都度伝達を行い、一貫した支援が行われるよう努力しました。					
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	11	0	0	・療育後の片付けや翌日の準備をしながら振り返りや情報の伝達を行いました。クラス職員全員で振り返る事は難しい時もありますが、全員で情報共有できるように直接もしくは引継ぎノートを作成し、連絡漏れが無いよう努めました。					
	11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	11	0	0	・日々の記録については支援計画に沿って個々に作成した連絡ノートに記録しました。日々振り返りを行い、適切な支援が行われるよう努めました。それを基に月ごとの記録を作成しています。また、支援の変更が必要な場合は新たな支援を追加しました。					
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	11	0	0	・半年に1回モニタリングを行いました。またそれ以外にも子どもさんの状況に応じてその都度支援の見直しを行いました。保護者の方にはモニタリングの結果を半年に1回開示しました。					
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	9	2	0	・児童発達支援管理責任者と各担当が参加できる体制を整えています。					
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				非該当					
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				非該当					
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	11	0	0	・就学時に保護者と共同でサポートブックを作成し、それをもとに関連機関との引き継ぎを行う予定です。					
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	11	0	0	・放課後等デイサービスを利用する際には、保護者の方と一緒に作成したサポートブックをもとに引き継ぎを行う予定です。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進				非該当					
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	11	・幼稚園・保育所等との交流の機会の設定は行っていません。ひよこ園ではインクルージョンに不可欠なことは本人のセルフエスティームを育むことと、保護者の方が子どもさんの持つ特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ひよこ園事業の療育支援はその点に重点を置いています。 ・並行通園の子どもさんには、療育等支援事業の施設支援を実施し、情報交換や情報共有を行いました。	16	3	3	10	・現時点でそういった機会があるのか把握しておらず、「わからない」につけさせていただきました。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	11	0	0	・クリスマス会に地域のボランティアさんに来ていただきサンタクロースに扮してもらい子どもさんにプレゼントを渡していただきました。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	11	0	0	・利用者負担等に関しては、重要事項説明書に記し、入園説明会や契約の際に細かく説明しました。また、園内にも掲示しました。支援の内容については、個別懇談等で進捗状況を説明し、情報共有しました。	32	0	0	0	・支援の内容や目標について丁寧に説明して頂いています。 ・一つひとつ丁寧に説明があった。	・今後も丁寧な説明を行っていきます。不明な点があれば、いつでもご質問ください。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	11	0	0	・年間支援計画の開示を行いました。その際、より具体的な支援内容の説明を行い、同意を得ました。	32	0	0	0	・されていた。 ・いつも丁寧に説明して下さってありがとうございます。	・今後もわかりやすく丁寧な説明を心がけます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	11	0	0	・全体懇談会、療育参加、クラス懇談会、個別懇談等により、保護者の方に子どもさんの特性理解や支援の方法について情報提供を行いました。	31	0	0	1	・されていた。	・今後も個別懇談や全体懇談会等で療育での支援の意味を説明し、家庭と連携を図った支援を行います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	11	0	0	・連絡ノート、コドモン(ICT)、電話連絡を活用しながら、子どもさんの状況をその都度お伝えするようにしました。	32	0	0	0	・連絡ノートや個別懇談で情報をしっかり共有できありがたいです。 ・連絡帳やアプリで伝え、共通理解できていた。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	11	0	0	・日ごろから気軽に話しかけやすい雰囲気づくりを職員一同心がけ、信頼関係が築けるよう努めました。	32	0	0	0	・月に1度個別懇談でじっくりお話ができありがたいです。 ・困った事を相談すると対応、親身に聞いて下さり支援も得られていた。 ・悩みや相談にいつも親身になって聞いてくださり感謝しています。 ・たくさんの助言を頂きとても学びになりました。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	11	0	0	・必要に応じて支援できる体制を整えており、状況に応じてお手伝いしました。	31	0	1	0	・月に数回親の集まりを開き、話す機会をいただけて助かった。 ・保護者の方と色々な意見など共有出来てありがたいです。	・保護者会がスムーズに運営できるようこれからもサポートしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	11	0	0	・苦情があった場合に迅速かつ適切な対応が出来るよう苦情担当者及び苦情解決責任者窓口をコドモンの資料室に掲示しました。	29	0	0	3		・事業所の現状評価の欄に記載しています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	11	0	0	・子どもさんへの関わりとしては、受容性、表現性の視点でコミュニケーション支援を行いました。子どもさんが情報を受け取りやすい環境を整え、発信する手段の確保を行いました。保護者への情報伝達にはコドモンを活用しました。	30	2	0	0	・されている。	・今後も保護者の方と的確に情報伝達を行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	11	0	0	・全体懇談会や行事についてコドモンで事前にお知らせしました。また、毎月1回ひよこだより、毎週1回療育の予定をコドモンで配信しました。	31	0	0	1	・コドモンでまめに情報を配信してもらっています。 ・定期的にして下さるので活動概要など知れてありがたいです。 ・されている。	・今後もコドモンを通して発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	11	0	0	・ヒヤリハット活動等を通して、個人情報の意識向上を図りました。	31	1	0	0	・厳重にされている。	・今後も個人情報の取扱いに注意していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	11	0	0	・保護者の方にはコドモンで常時閲覧できるようにしました。年度初めに職員全体でマニュアル確認を行い周知徹底しました。また、定期的に訓練を行い、振り返りや見直し等も行いました。来園者には来客用の名札を配布し、関係者か否か区別できるようにしました。	31	1	0	0	・されている。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応(続き)	2	11	0	0	・BCP訓練として非常災害訓練(震災・津波・近隣の溜め池の決壊)を行いました。また非常災害時にはコードモンの活用を通して連絡手段を確保しています。訓練後は、振り返りと改善点を話し合い、職員の意識向上に努めました。訓練の内容はコードモンで保護者にも配信しました。	32	0	0	0	・避難訓練についていつもしっかりと情報を開示してくださっているのが心強いです。 ・定期的に避難、火事の訓練をして備える事を少しでも身につけさせてくれている。 ・いつもありがとうございます。 ・どのような内容か通知が来てわかりやすい。	・訓練の内容は今後も随時コードモンで配信していきます。	
	3	11	0	0	・痙攣やてんかんの有無を確認するアンケートを配布し、痙攣・てんかんの有無を確認しました。また、予防接種についても適宜確認を行いました。							
	4	11	0	0	・アレルギーのある子どもさんに関しては、医師の指示書に応じて除去食(代替食)を提供しました。また提供する際には間違いが起こらないようにトレイの色を変える事や置き場所等の工夫をしました。							
	5	安全管理の徹底	11	0	0	・園内に危険箇所がないか月1回安全チェックを行いました。バスの送迎に関しては、園児の降ろし忘れがないよう、バス内を最終確認すると共に、チェック表をもとにクラスごとの確認を行いました。 療育中の睡眠に関しては、チェック表を活用し、記録を取りました。 プール活動に関しては、監視員の役割を明確にし、安全管理を徹底しました。						
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	11	0	0	・安全計画に則って取り組んだ事柄については、その都度コードモンで内容を配信しました。	32	0	0	0	・されている。	
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	11	0	0	・ヒヤリハットに関しては、その日の終礼で報告すると共に、月1回のヒヤリハット活動で職員全体の意識を高めました。						
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	11	0	0	・虐待防止研修やエンパワメント研修を実施し、日頃の関わりについて検討しました。						
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	11	0	0	・やむを得ず身体拘束を行う事はありません。						
	満足度	1					31	1	0	0	・これまで子どもが行き渋りをしたことはほぼありません。とても快適に過ごせていると思います。いつも本当にありがとうございます。 ・されている。	・子どもさんが、安心感をもって通えるよう努力していきます。
2						31	1	0	0	・スケジュールを見て安心して いる。 ・子どもにとってひよこ園は安心出来る場所になっていると思います。	・子どもさんたちが楽しく生活できるようさらに努力します。	
3						32	0	0	0	・親子ともに満足している。 ・満足しています。本当にいつもありがとうございます。	・保護者の皆様が、療育に満足して頂けるよう支援を提供していきます。	